

# 届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

南九州大学 環境園芸学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 南九州学園  
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 カクムフチヨウ 学務部長 ナカムラ 中村 ミノル 稔

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# 目 次

1. 調査大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況, 経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況
6. 留意事項に対する履行状況等
7. その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 南九州学園

## (2) 大学名

南九州大学

## (3) 大学の位置

〒885-0035 (〒880-0032)

宮崎県都城市立野町3764番地1 (宮崎県宮崎市霧島五丁目1番地2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(シブヤ ヨシオ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	(ハセガワ ジロウ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	理事互選による 平成21年4月1日 (21)
学長	(シブヤ ヨシオ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	(ハセガワ ジロウ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	任期満了による 平成21年4月1日 (21)
学部長	(ヤマグチ マサアツ) 山口 雅篤 (平成21年4月)		
学科長等	(ヤマグチ マサアツ) 山口 雅篤 (平成21年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
環境園芸学部 環境園芸学科  学士(農学)	4年	130人	年次 - 人	520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員 超過率	備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	( - ) - 人	( - ) - 人	130人 ( - )	130人 ( - )	0.85倍	
志願者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 162	( - ) 172		
受験者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 160	( - ) 170		
合格者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 159	( - ) 168		
B 入学者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 109	( - ) 112		
入学定員超過率 B/A	( - ) -	( - ) -	( - ) 0.84	( - ) 0.86		

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度				備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 112	2年次在学学生110人のうちの1人は旧学科組織からの転学科生である。
2年次	/	[ - ] -	[ - ] 110	[ - ] 110	
3年次	/	/	[ - ] -	[ - ] -	
4年次	/	/	/	[ - ] -	
計	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 110	[ - ] 222	

- (注) ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
○○研究科 ○○専攻(○○課程)  修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人		
A	入学定員	( )	( )	( )		
	志願者数	( )	( )	( )		
	受験者数	( )	( )	( )		
	合格者数	( )	( )	( )		
B	入学者数	( )	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( )	( )	( )		

- (注) ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。  
入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
		[ ]	[ ]	[ ]	
1年次		[ ]	[ ]	[ ]	
2年次		/	[ ]	[ ]	
3年次		/	/	[ ]	
計		[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ - ] 0	(累積)計 [ - ] 0	[ - ] % 0 %
	うち平成19年度入学者 -人	うち平成19年度 -人	
	うち平成20年度入学者 -人	うち平成20年度 -人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ - ] 0	(累積)計 [ - ] 0	[ - ] % 0 %
	うち平成19年度入学者 -人	平成19年度 -人	
	うち平成20年度入学者 -人	平成20年度 -人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 0人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 0人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	フレッシュマンアワー	1前	1										
	言葉と文章	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	心理学概論	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	哲学	1前 <del>1後</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)	
	倫理学	<del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	宗教学	1後 <del>2前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	美術史	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	歴史と現代	1前		2									
	歴史と社会	1後		2									
	日本国憲法	1後 <del>2前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	社会学	1後		2									
	経済学	1前		2									
	生物学の基礎	1前		2		1						兼任教員の都合により、専任教員に変更(21) 担当 山口雅篤(教授)	
	生物の世界	1後		2		1						兼任教員の都合により、専任教員に変更(22) 担当 山口雅篤(教授)	
	化学の基礎	1前		2									
	化学の世界	1後		2									
	物理学の基礎	1前		2									
	物理の世界	1後		2									
	地学の基礎	1前		2									
	地学の世界	1後		2									
	統計学	1後		2									
	数学	1後		2									
	情報処理論Ⅰ	1前・後		2									
	情報処理論Ⅱ	2前・後		2									
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	1前 <del>2前</del>		4								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		英語コミュニケーションⅡ	1後 <del>2後</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	保健講義	1後		2									
	体育実技	1通		2									
専門基礎科目	環境園芸概論	1前	2			6	1					教育効果に配慮し、専任教員を追加(21) 担当 渡辺昭治(教授), 杉本和宏(教授), 平岡直樹(教授), 徳原隆(准教授)	
	環境園芸実験実習 I	1前	2			2	1						
	環境園芸実験実習 II	1後	2				3						
	環境科学	1後	2										
	生命科学	1前 1後	2			1						教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	植物資源科学	1後	2			1							
	技術者倫理	1後	2										
	専攻演習 I	3後	2			12	9	1					
	専攻演習 II	4前	2			9	9	3					
	専攻演習 III	4後	2			12	9	1				専任教員追加及び職位変更(22)	
	卒業論文	4通	6			9	9	3					
	専門教育科目	植物学	1前		2		1						
		環境気象学	1前		2								
		微生物学	1前		2		1	+					職位変更(22) 教育効果に配慮し、配当年次を変更及び専任教員を追加(22) 担当 日高英二(准教授)
			1前 1後					1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
樹木学		1前		2									
植物生理学		1後		2		1							
土壌学		1後		2			1	+				職位変更(22)	
造形デザイン演習		1後		2		1						教育効果に配慮し、専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)	
作物栽培学		1後		2		1							
博物館学概論		1後		2		1							
学外研修(環境園芸)		2前		2		1	1					他学部科目との区別のため、科目名を変更(21)	
アグリビジネス論		2前		2									
遺伝育種学概論		2前		2		1							
園芸生産環境専門実習		2前		2		2	2	1					
ガーデニング概論		2前		2			1						
花卉園芸総論		2前		2			1						
果樹園芸総論		2前		2									
環境アセスメント論		2前		2									
環境保全型農業論		2前		2		1							
環境緑地論		2前		2		1							
基礎製図実習	2前		2			1	+				職位変更(22)		
グリーンツーリズム論	2前		2		1								
昆虫学	2前		2			1							
細胞工学	2前		2		1								
	2後												
自然環境実習	2前		2			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)		
植物生態学	2前		2										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	植物病理学	2前		2		1	+					職位変更 (22)
	生物化学	2前		2		1						
	造園植栽論	2前		2			1					
	測量学 I	2前		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
	測量学実習 I	2前		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
	蔬菜園芸総論	2前		2			1					
	地産地消論	2前		2		1						
	農産物流通原論	2前		2		1	+					職位変更 (22)
	ピオトープ論	2前		2			1					
	フラワー実習	2前		2				1	1			
	遺伝子工学	2後		2		1	+					職位変更 (22)
	園芸生産環境実験	2後		2		2	2	1				
	ガーデニング実習	2後		2			1	1				
	花卉園芸各論	2後		2			1					
	花卉専門実習	2後		2			1					
	果樹園芸各論	2後		2								
	環境哲学	2後		2			1	-				職位変更 (22)
	環境農業経営論	2後		2		1						
	環境保全園芸論	2後		2		1						
	環境保全専門実習	2後		2		1	1	1				
	コンピュータ演習	2後		2			2					
	細胞・分子生物学実験	2後		2		1						
	作物学各論 I	2後		2		1						
	作物専門実習	2後		2		1						
	自然緑地計画論	2後		2		1						
	自然緑地計画論演習	2後		2		1						
	樹木医学	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
			2後									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)
			<del>3前</del>									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (21)
	植物バイオテクノロジー	<del>2後</del>		2		1						教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)
	植物バイオテクノロジー実験	<del>3前</del>		2		1						教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)
	植物分類学	2後		2								
	森林政策学	2後		2	1							
世界の庭園と歴史	2後		2	1	1						教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22)	
造園材料施設論	2後		2		1							
造園緑地実験 I	2後		2		1							
		3後									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)	
総合防除論	<del>2後</del>		2		1	2					教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)	
測量学 II	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)	
測量学実習 II	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)	
蔬菜・果樹専門実習	2後		2			1						
蔬菜園芸各論	2後		2			1						
		2前									教育効果に配慮し、配当年次を変更 及び専任教員を追加 (22)	
庭園学	<del>2後</del>		2		1	+					担当 永松義博 (教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	庭園学演習	2前 -2後		4			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更及び専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)
	動物生態学	3前 -2後		2			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)
	土壌学各論	3前 -2後		2			+		+			教育効果に配慮し、配当年次を変更及び職位変更(22)
	農業協同組合論	2後		2								
	農産物流通論	2後		2			1	+				職位変更(22)
	水辺環境論	2後		2			1					
	博物館学各論	2通		4								
専門 教育 科目	教育学概論	2後		2								
	遺伝子工学実験	3前		2			1	+				職位変更(22)
	園芸療法実習	3前		2						1		
	園芸療法論	3前		2						1		
	ガーデニング植物材料論	3前		2			1	+				教育効果に配慮し、専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)
	環境関連法	3前		2						1		
	環境教育実習	3前		2								
	環境植物論	3前		2								
	環境調査及び再生論	3前		2			1					
	景観論	3前		2			1					
	コンピュータ・CAD演習	3前		2				1		+		職位変更(22)
	作物学各論II	3前		2			1					
	敷地計画論	3前		2					1			
	敷地計画論演習	3前		4					1			
	自然体験実習	3前		2								
	種苗生産学	3前		2					1			
	植物育種学I	3前		2			1					
	植物生殖・発生学	3前		2			1					
	造園管理学	3前		2					1			
	造園施工実習	3前		2			1					
	造園緑地実験II	3前		2					1			
	造園緑地実習	3前		2			1	2		+		職位変更及び専任教員追加(22) 担当 平岡直樹(教授), 竹内真一(准教授)
	地域計画論	3前		2			1					
	動物分類学	2後 3前		2					1			教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)
	熱帯植物論	3前		2								
	農業機械学	3前		2								
	農産物貿易論	3前		2			1	+				職位変更(22)
	農村調査実習	3前		2			1	1				
	肥料学	3後 -3前		2					1		+	教育効果に配慮し、配当年次を変更及び職位変更(22)
	分子育種学	3前		2			1					
	保全生物学	3前		2								
	水辺環境論実習	3前		2	1							
緑化学	3前		2			1						
農業史	3前		2	1								
生涯学習概論	3前		1									
アジア農産物貿易論	3後		2			1	+				職位変更(22)	
インターンシップ	3通		2			1	1					
園芸利用学	3後		2			1						
ガーデニング特別実習	3後		2				2		+		教育効果に配慮し、担当を変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	環境緑地論実習	3後		2		1						
	建築学概論	3後		2			1		+			職位変更 (22)
	国外研修	3通		2			2		+			職位変更 (22)
	施設園芸学	3後		2			1					
	植物育種学Ⅱ	3後		4		1						
	生体成分分析実験	3後		2		1						
	生物統計学	3後		2		1						
	造園管理学実習	3後		2			1					
	動物生理学	3後		2			1					
	都市計画論	3後		2		1						
	都市緑地論	3後		2			1					
	都市緑地論演習	3通		4			1					
	農業機械実習	3後		+	2							教育効果に配慮し、単位数を変更 (22)
	農業法人論	3後		2	1							
	農薬科学	3後		2	1							
	ハーブ園芸論	3後		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1		+				職位変更 (22)
	盆栽論	3後		2								
	応用数学	3通		4								
	博物館実習	3通		3		1						教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 澁谷義夫 (教授)
	視聴覚メディア論	3後		1								
	科学英語	3後		2		1						

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
・「配当年度」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	160	0	172	12	160	0	172	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	フィールドセンターを 整備			
	校舎敷地	40,796㎡	0㎡	0㎡	40,796㎡				
	運動場用地	18,140㎡	0㎡	0㎡	18,140㎡				
	小 計	58,936㎡	0㎡	0㎡	58,936㎡				
	そ の 他	35,066㎡ 7,186㎡	0㎡	0㎡	35,066㎡ 7,186㎡				
合 計	94,002㎡ 66,122㎡	㎡	㎡	94,002㎡ 66,122㎡					
(2) 校 舎	専 用	19,064.05㎡ ( 19,064.05㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	19,064.05㎡ ( 19,064.05㎡ )				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教 室 等	1 2 室	3 1 室	4 0 室	2 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	環境園芸学部 環境園芸学科			22 室		届出学部全体			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	環境園芸学部	[ ] (121,361 [18,828])	[ ] ( 232 [ 54 ] )	[ ] ( 1 [ 1 ] )	( 980 )	( 4,367 )	( 0 )		
	計	[ ] (121,361 [18,828])	[ ] ( 232 [ 54 ] )	[ ] ( 1 [ 1 ] )	( 980 )	( 4,367 )	( 0 )	大学全体	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	1,246.00㎡	189席		114,000冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1,616.50㎡	グラウンド1面		テニスコート2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の図書購入費は人間発達学部と共用の予定であったが、開設が1年遅れたため修正(22)	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	513千円	513千円	図書購入費	3,000 35,000千円	35,000 3,000千円		3,000千円
	共同研究費等	1,064千円	3,541千円	設備購入費	100,000千円	25,000千円	25,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,300千円	1,068千円	1,070千円	1,080千円	一千円	一千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経費補助金、資産運用収益、雑収入 等							

(注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え直し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	南九州大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
園芸学部 園芸学科	4	—	—	—	学士（農学）		昭和42年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609		
環境造園学部 造園学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609		
地域環境学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度			
健康栄養学部 管理栄養学科	4	60	—	240	学士（栄養学）	0.93 1.07	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2		
食品健康学科	4	40	—	160	学士（食品学）	0.69	平成15年度			
人間発達学部 子ども教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	0.56 0.56	平成22年度	宮崎県都城市立野町3764番地1		
大学の名称	南九州短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
国際教養学科	2	110	—	220	短期大学士（国際教養）	1.22	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。



届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	立澤 文見	平成21年4月	ハーブ園芸論 フラワー実習 ガーデニング植物材料論 ガーデニング実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	専	講師	林 典生	平成21年4月	ハーブ園芸論 ガーデニング 植物材料論	平成21年3月 立澤文見准教授昇任のため 平成22年度より担当者の変更 (21) 「フラワー実習」「ガーデニング実習」「ガーデニング特別実習」は他に担当教員が2名いるため、支障はない。	
専	講師	林 典生	平成21年4月	ガーデニング実習 園芸療法実習 園芸療法論 フラワー実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	兼任	講師	金井 良一	平成23年10月	ガーデニング特別実習		
					兼任	講師	吉田 晋弥	平成23年10月	ガーデニング特別実習	教育効果に配慮し、担当者を変更 (22)	
					兼任	講師	横山 浩二	平成23年10月	ガーデニング特別実習		
専	講師	柳 由貴子	平成21年4月	土壌学 土壌学各論 肥科学 環境保全専門実習 園芸生産環境実験 園芸生産環境専門実習 国外研修 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文						ハーブ園芸論 ガーデニング 植物材料論	平成23年4月から立澤文見准教授昇任のため、担当科目を追加 (21)
専	講師	柳 由貴子	平成21年4月	土壌学 土壌学各論 肥科学 環境保全専門実習 園芸生産環境実験 園芸生産環境専門実習 国外研修 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文		准教授					平成21年4月から准教授へと職位変更 (21)
専	准教授	姜 景求	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅱ 農産物流通原論 農産物流通論 農産物貿易論 アジア農産物貿易論 農村調査実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文			教授				平成22年4月から教授へと職位変更 (22)
専	准教授	菅野 善明	平成21年4月	樹木医学 微生物学 植物病理学 遺伝子工学 遺伝子工学実験 微生物利用学 総合防除論 コンピュータ演習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	専任	准教授	日高 英二	平成22年4月	樹木医学	教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22)	
							教授			平成22年4月から教授へと職位変更 (22)	

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	講師	岡島 直方	平成21年4月	基礎製図実習	専	教授	平岡 直樹	平成21年4月	造園緑地実習	教育効果に配慮し、担当者を追加(22)
				環境哲学					専	
				コンピュータ・CAD演習						
				建築学概論						
				造園緑地実習						
				国外研修						
				専攻演習Ⅰ						
				専攻演習Ⅱ						
				専攻演習Ⅲ						
				卒業論文						
専	准教授	竹内 真一	平成21年4月	樹木学	専	准教授	日高 英二	平成22年4月	樹木学	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
				測量学Ⅰ					測量学Ⅰ	
				測量学実習Ⅰ						
				ピオトープ論						
				造園緑地実験Ⅰ						
				造園緑地実験Ⅱ						
				緑化学						
				インターンシップ						
				専攻演習Ⅰ						
				専攻演習Ⅱ						
				専攻演習Ⅲ						
				卒業論文						
兼任	講師	島田 正春	平成21年4月	測量学Ⅱ	専	准教授	日高 英二	平成22年4月	測量学Ⅱ	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
				測量学実習Ⅱ					測量学実習Ⅱ	
兼任	講師	小寺 尚	平成21年4月	造形デザイン演習	専	教授	永松 義博	平成22年4月	造形デザイン演習	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
専	教授	平岡 直樹	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅰ	専	教授	永松 義博	平成22年4月	世界の庭園と歴史	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
				自然緑地計画論					世界の庭園と歴史	
				自然緑地計画論演習						
				都市計画論						
				造園施工実習						
				専攻演習Ⅰ						
				専攻演習Ⅱ						
				専攻演習Ⅲ						
				卒業論文						
専	准教授	関西 剛康	平成21年4月	造園植栽論	専	教授	永松 義博	平成22年4月	庭園学	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
				庭園学					庭園学演習	
				敷地計画論						
				敷地計画論演習						
				都市緑地論						
				都市緑地論演習						
				専攻演習Ⅰ						
				専攻演習Ⅱ						
				専攻演習Ⅲ						
				卒業論文						
専	講師	林 典生	平成21年4月	ガーデニング植物材料論	専	教授	永松 義博	平成22年4月	ガーデニング植物材料論	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	9	3		21		12	9	1		22		
( 9 )	( 9 )	( 3 )	( )	( 21 )	( )	[ +3 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ ]	[ +1 ]	[ ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	立澤 文見	他大学への就任
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学部設置届け出後の専任教員交代は望ましくないと思慮されるが、本人の意向を尊重した結果の措置である。担当科目については教育に支障のないよう対処する。  
学生へは前期開講前のオリエンテーションで周知した。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目27単位、選択科目331単位	① 学生の専門性をより高めるため、教養科目（2科目2単位）、専門選択科目（1科目1単位）の単位数を増やした。（2-① 授業科目参照）
② 施設・設備 a 講義室〇室（〇㎡） b 自習室〇室（〇㎡） c 図書〇〇冊	② 届け出時の計画は記入の必要がなかったが、概要は以下の通りである。 a 講義室12室（1,666㎡） b 自習室2室（80㎡） c 図書112,418冊（大学全体）

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD推進委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会 平成21年 8月17日（月）（7人） 平成21年11月10日（火）（8人） 平成22年 3月18日（木）（7人） FD推進委員会作業部会責任者会 平成21年 7月 3日（金）（4人） 作業部会 平成21年 7月13日（月）、 8月 7日（金）、 11月 2日（月）、 11月17日（火） 12月 9日（水）、 12月14日（月） c 委員会の審議事項等 平成21年 8月17日（月）：後期実施のFD案について 平成21年11月10日（火）：FD活動実施内容及び実施工程について 平成22年 3月18日（木）：実施状況について 各作業部会においては、実施内容の検討及びまとめ、集計作業等を行った。
② 実施状況 a 実施内容 ・学生による授業評価 ・教員相互による授業参観 ・教員への社会貢献アンケート ・サバティカル研修報告会

- ・ 新任教職員オリエンテーション
- ・ 教科書作成
- b 実施方法
  - ・ 学生による授業評価アンケート  
学生による授業評価を実施した。
  - ・ 教員相互による授業参観  
1 授業を複数教員が参観し、相互評価を実施した。
  - ・ 教員への社会貢献アンケート  
教員の社会貢献への参加状況を調査し、本学の今後の取り組み、活性化の課題等を検討した。
  - ・ サバティカル研修報告会  
本学の長期学外研修制度であるサバティカル研修に参加した教員の報告会を実施した。
  - ・ 新任教職員オリエンテーション  
新任教職員を集合の上、本学の沿革、教育研究の理念等を周知し、資質向上の一助とする。
  - ・ 教科書作成  
教育効果に配慮し、教員自身が教科書を作成し、学生に無償で配布する。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
  - ・ 学生による授業評価アンケート  
平成 2 1 年 1 2 月 7 日～ 1 2 日に開講授業を対象に授業評価を実施した。
  - ・ 教員相互による授業参観  
平成 2 2 年 1 月に全専任教員を対象に授業参観を実施した。
  - ・ 教員への社会貢献アンケート  
平成 2 2 年 1 月 2 2 日～ 3 月 1 日に全専任教員を対象に社会貢献度のアンケート調査を実施した。
  - ・ サバティカル研修報告会  
平成 2 2 年 3 月 1 0 日実施にサバティカル対象 3 人の研修報告会を実施した（教員 2 4 人、職員 3 人参加）
  - ・ 新任教職員オリエンテーション  
平成 2 2 年 4 月 1 日（木） 新任教職員対象者 1 1 人。
  - ・ 教科書作成  
毎年全学的に実施するが、平成 2 2 年度は 1 教科作成（教員 2 人）。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
学生による授業評価アンケート、教員相互による授業参観、教員への社会貢献アンケート結果は教授会で、報告し授業改善の取り組みを進める。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「② 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### 1) 教育の達成状況

開学二年目を迎え、より専門性の高い専門選択科目が開講され、2年生は、戸惑いを感じるようになる。この対策として、学生達が4月に履修科目を決定する前に、専門科目の履修方法についての説明会を開催した。1学科が6専攻に区分されているので、各専攻毎に専攻責任者を置き、設置趣旨・目的を考慮し各専攻に相応したモデルカリキュラムを作成して説明会に臨んだ。また、説明会後に学生達の理解を促すために、専攻相談係を設けた。説明会においては、専攻希望のアンケート調査を実施した。その結果、専攻希望毎の人数に基づいて、専門教育科目の実験・実習および演習の受入準備を行った。特に、フィールドセンターでの実習や学外での移動を必要とする実習については、機械・器具、移動手段等の整備を行った。さらに、教職、学芸委員、樹木医捕、測量試補等の免許取得を希望する学生に対しても、免許担当の教員を配置して、2年生への説明や相談を行った。入学後に専攻の内容を認識してから、希望の専攻を決定することを本学科の特色としたため、この目的の達成のために、今後も、学生のニーズに対応したきめ細かな指導を目指して行く。

学生の履修状況を早期に把握し、欠席者や体調不良者への相談やカンセラーを行い、自立的な履修を促すために、1学年担当教員、2学年担当教員、保健師およびカウンセラーが、定期的(1ヶ月に1回)に情報を持ち寄って、対象となる学生の対応策や問題点を検討した。現在、1年生については、休学者が1名の留まっている。また、2年生については、進路変更希望者が1名である。本学科では、開学1年目の経験と反省を踏まえて、学生が、低学年教育の段階で学習習慣や生活習慣を身に付けることを今年度の目標に掲げて、1年生に対しては、約25名の学生について1担当教員を配置して、学習や生活の自立の支援を試みていく。

1年次の開講の中に、本学科の基幹科目となる4科目(環境科学、生命科学、植物資源科学および技術者倫理)の必須専門基礎科目を配置して、学生が、人と自然の調和の重要性を深く理解することを目指した。また、1年生が本学科の全教員と触れ合い、講義や実験・実習を通じて、環境園芸学の専門分野の面白さに認識するように、環境園芸学と環境園芸実験実習について全教員参加のオムニバス形式の講義を配置した。これらの講義は、本学科の学生の園芸・造園分野に対するモチベーションを維持し、また、学生と教員のコミュニケーション高める効果が得られたものと思われる。

##### 2) 設備の整備の達成状況

平成22年度から専門分野の実験・実習の講義が開講されるため、旧キャンパスの実験・実習の備品類の全面的な移動を行い、また、本学科の中心となる大型備品の整備を行った。今年度に整備されたものは、バイオサイエンス部門の備品が中心であり、DNAシーケンサー、リアルタイムPCR、遠心分離器、PDA装置付HPLC、自動分光光度計、マイクロスコープなどが分析実験室に配備中である。フィールドサイエンス部門では、高所作業車、バクフオーなどをフィールドセンターに配備した。今後、年次計画にてバイオサイエンスおよびフィールドサイエンスの備品を整備し、附属センターを活用して、本学の特徴である実験・実習を通じた実学教育を展開していく。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

・公表未定

##### b 公表方法

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成19年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受け、基準を満たしていると認定された。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表予定時期 ( 平成22年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. ) ※現時点では未定

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。